
平成25年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成25年3月7日

質問者（質問順）

- 1 安西英俊 委員（公明党）
- 2 平野和之 委員（みんな）
- 3 岩崎ひろし 委員（共産党）
- 4 高橋徳美 委員（自民党）
- 5 鈴木太郎 委員（自民党）
- 6 五十嵐節馬 委員（民主党）
- 7 小幡正雄 委員（ヨコ会）

政策局

局 別 審 査

1 安 西 英 俊 委 員 (公 明 党)

1 平成25年度政策局予算について

(1) 予算編成に対する思いについて伺いたい。

2 防災まちづくりの検討について

(1) 横浜市地震被害想定における火災被害の想定の特徴について伺いたい。

(2) 延焼危険性が高い地区での対策の課題認識について伺いたい。

(3) 延焼危険性が高い地区での対策に向けた意気込みについて伺いたい。

(4) 神戸市の「まちなか防災空地整備事業」への評価について伺いたい。

(5) 災害時重要拠点への緊急交通路からのアクセス路線を指定して、沿道建築物の耐震化促進を図ることの考え方と、施策検討の状況について伺いたい。

(6) まずは、特に、木造住宅密集市街地において、地域防災拠点へのアクセス路を確保するような検討を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 東日本大震災後、防災まちづくりに対する市民の意識の高まりや期待は非常に大きい。そのため、その対策については、これまでの局ごとの役割分担を超え、幅広い検討により、より効果的な施策を構築し、実行性のある取組を速やかに実施していただくことを要望します。

3 郊外住宅団地の再生とコンパクトなまちづくりについて

(1) コンパクトなまちづくりを進めるにあたっての、郊外大規模団地の位置づけについて伺いたい。

(2) コンパクトなまちづくりを進める上で、郊外住宅団地と最寄駅等を結ぶ、路線バスの重要性について、どのように認識しているのか。

(3) コンパクトなまちづくりを進めるにあたって、交通弱者対策を含めた地域交通対策の充実を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 中小企業を視野に入れた公民連携について

- (1) 共創の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 共創フロントの実績について伺いたい。
- (3) 市内中小企業と連携した事例について伺いたい。
- (4) 市内中小企業との連携を進めていくための取り組みについて伺いたい。
- (5) 市内中小企業との公民連携をより進めていくために、各局区の職員の意識を高めていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

5 横浜市立大学の i P S 細胞研究について

- (1) 横浜市立大学で進められている研究内容について伺いたい。
- (2) 研究に対し将来的にどのようなことを期待するのか。
- (3) 研究に対する国からの支援内容について伺いたい。

6 旧小柴貯油施設について

- (1) 公園基本計画策定費を予算計上した理由について伺いたい。
 - (2) 「跡地利用基本計画」と今回策定する「公園基本計画」の違いについて伺いたい。
 - (3) 「跡地利用基本計画」と「公園基本計画」の整合性について伺いたい。
 - (4) 今後のスケジュールについて伺いたい。
- (要望) 今後の整備計画においても、地元住民や広く市民の皆様からのご意見を伺いながら、着実に進めていただくことを要望します。

2 平野和之委員（みんな）

1 中期4か年計画について

- (1) 中期4か年計画は何を目標としているのか伺いたい。
- (2) 市長の言う「成果を実感していただく」とは具体的にどのようなことか伺いたい。
- (3) 計画に掲げられている「待機児童ゼロ」はあくまでもプロセスの一つに過ぎず、本来の具体的な目標設定とは二つあると思うが何か。
- (4) 最終的な目標として、女性の就労率向上や出生率向上のために、今後の中期4か年計画の目標をより具体的で分かりやすい数値設定に変える必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 具体的で分かりやすい数値目標に対する結果こそが市民に一番分かりやすく成果を実感していただけるものなので、その点について中期4か年計画を修正していただくことを要望します。

2 政策局の存続意義について

- (1) 政策局の本市における役割について伺いたい。
- (2) 政策局の役割は、民間企業で言う経営戦略を立てる部署、コンサルタント、シンクタンク、顧問あるいは秘書のいずれに該当するのか伺いたい。
- (3) 計画を作るだけで終わりにするのではなく、作った計画に対する責任はどのように取っていくのか。
- (4) 財政局が昨年打ち出した今後20年の財政収支見通しについて、政策局が政策の選択と集中を図っていくのか、またそのことについての責任は今後どうしていくのか。
- (5) 計画に対する責任がなければ、事業のリスクを誰も取らなくなってしまう。この点について、政策局の必要性について、改めて選択と集中で考えることが必要だが、見解について副市長に伺いたい。
- (6) 政策局の必要性が今後増えるのであれば、会社の経営戦略と同様に、政策局

が全局の頭に立って、その下について所管局に対しコントロールしていく責任と覚悟はあるのか。

3 PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）について

- (1) 指定管理者の総括について伺いたい。
 - (2) 指定管理者でも、入札制度による人件費削減ではなく、長期更新の場合はなるべく現場の待遇改善に行くか、またはさらにコストを下げていくべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (3) 本市においても水道事業の民営化を検討すべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (4) 水道事業における、本市以外の事業主体について議論する余地はあるか。
 - (5) 本市における公営企業の管理者は誰か。
 - (6) 本市における公営企業のステークホルダーは誰か。
 - (7) 公営企業を総合的に管理監督する部署について
 - ア 市長部局に設置すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - イ どこが責任を持って管理するのか。
- (要望) 事業のリスクはヘッジするものであってテイクしてはいけません。経営管理について、組織として管理していただくよう強く要望します。

4 グローバルASEAN連携について

- (1) 東南アジア地域における自治体外交の過去の実績と考え方について伺いたい。
 - (2) シンガポールとの交流について伺いたい。
 - (3) ミャンマーとの交流について伺いたい。
- (要望) 海外の低・中・高所得各々の国に合わせた戦略を練ることが必要ですので、横浜の企業とターゲットィングを再度検証されることを要望します。

5 横浜版成長戦略について

- (1) 横浜版成長戦略の推進にあたっては、国の産業競争力会議のような会議を設置し、官民ともに自由闊達に議論する場を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 成長戦略の責任を取るのはどの部署か。

3 岩崎ひろし 委員（共産党）

1 原子力災害を含む防災のまちづくり施策について

(1) 空母ジョージ・ワシントン等の米軍艦船が搭載する原子炉について

ア 米軍艦船が搭載する原子炉の存在についての認識について伺いたい。

イ 搭載されている原子炉と原発の原子炉は原理的に同じか、それとも違うか。

(2) 3. 1 1 の際、ジョージ・ワシントンに危機的事態があったが、それはどのような事態か。

(3) 原子力災害対策指針について

ア 指針について知っているか。

イ 指針で定めている、原子力災害対策重点区域の範囲について伺いたい。

ウ 当該区域内では、どのような対応を求めているか。

エ 横須賀基地を中心とした同心円で影響範囲を示すと、現指針の対応範囲では横浜はどういう位置に属するか。

オ 市全域ではどうか。

(4) 本市の放射能災害対策の対象について

ア 米軍原子力艦船を本市の放射能災害対策の対象にすべきと考えるが、見解を伺いたい。

イ 原発以上の危険性が目の前にあるにも関わらず、国の専権事項として見て見ぬふりをするのは許されない。対象とすべきと考えるが、再度見解を伺いたい。

ウ 対象に出来ない理由について伺いたい。

エ 市民の命を守るという市の責務を果たすため、米艦船による災害の課題に対し、本市は主体的に総合調整力を発揮して対処すべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

オ 検討はするのか、それともしないのか。

(要望) 原子力艦船による災害という課題に対し、どのように対処するのか検討することを強く要望します。

4 高橋徳美委員（自民党）

1 中長期的な政策課題について

- (1) 中長期的な視点からの本市における政策課題について伺いたい。
- (2) 人口推計など、人口動態から見えてくる本市の変化について伺いたい。
- (3) 中長期的な視点から見た東京都心部や県央地区などの本市を取り巻くまちの変化と、本市への影響に対する現時点での認識と、今後の取り組みについて伺いたい。

2 横浜市立大学の運営について

- (1) 理事長と学長を別々にしたことへの評価について伺いたい。
- (2) 新理事長のもとで、学長との連携強化にどのように取り組んでいくことを望んでいるのか。
- (3) 学生の海外留学制度の充実にどのように取り組んでいくのか。
- (4) 市立高校と市大との連携についてどのように取り組んでいくのか。
- (5) 横浜市立大学として、より地域貢献を活性化させるために、どのような取り組みを行おうとしているのか。
- (6) 研究機関として市大が受ける外部研究費は他都市における同様の機関と比較してどのようなレベルにあるのか。

3 先端医科学研究センターについて

- (1) 先端医科学研究センターの国際戦略総合特区の中での位置づけについて伺いたい。
- (2) 25年度における取り組み内容について伺いたい。
- (3) 知的財産権を取得した場合の市大及び研究者のメリットについて伺いたい。
- (4) 新施設が完成したことによる本市市民へのメリットについて伺いたい。

4 公民連携による保有資産の有効活用について

- (1) サウンディング型市場調査及び課題解決型公募の特徴について伺いたい。
- (2) 手法の効果及び評価について伺いたい。
- (3) 政策局は、保有資産の有効活用において、どの部局においても公民連携が進むよう取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 防災まちづくりの検討について

- (1) これまでとは異なる手法で全庁的に防災まちづくりに取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 木造住宅密集市街地対策における幅広い取り組みについてのアイデアについて伺いたい。
- (3) 事前の復興計画策定の基本的な考え方、想定する計画分野及び大切な視点とは何か。

6 米軍施設の返還と跡地利用について

- (1) 根岸住宅地区について
 - ア 根岸住宅地区内の民有地の状況と課題について伺いたい。
 - イ 民間土地所有者との話し合いの状況と今後の進め方について伺いたい。
 - (2) 旧小柴貯油施設について
 - ア 民間土地所有者の意向を本市は把握しているのか。
 - イ その意向に対する対応について伺いたい。
 - ウ 民有地の扱いについての本市の今後の取り組みについて伺いたい。
 - エ 柴トンネルの安全管理については、早期に国との協議を整え近隣住民の不安を取り除くべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - オ 柴トンネルの件は、既に6、7年の間、国と市が議論している問題であり、早急な対策が必要と考えるがどうか。
- (要望) 柴トンネルの安全管理について、早急な解決を強く要望します。
- (3) 跡地利用については、政策局がリーダーシップをもって進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 未来に夢を描けるまちの実現について

(1) 未来に夢を描けるまちの実現に向けた決意について、副市長に伺いたい。

5 鈴木太郎 委員（自民党）

1 大都市制度について

- (1) 特別自治市に移行するまでの間、事務の移譲を優先的に受けていきたい分野について伺いたい。
- (2) 「子育て支援分野」、「義務教育分野」、「都市計画・土木分野」及び「福祉・保健・衛生分野」の各分野の移譲による市民へのメリットについて伺いたい。
(要望) 市民の納得を得られるようなメリットの説明が出来るよう要望します。
- (3) 区長人事や区予算など区行政にかかわる政策について、区選出市議員による議決を要する仕組みに変えるべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

2 Y-P O R T 事業について

- (1) ダナン市と覚書を結ぶこととなった経緯について伺いたい。
- (2) ダナン市との連携の深め方について伺いたい。
- (3) 今後のY-P O R T事業の進め方について伺いたい。

6 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

1 国際性豊かなまちづくりに向けた取り組みについて

- (1) 21年度の意識調査実施の経緯と施策への反映について伺いたい。
- (2) 25年度の意識調査実施の理由と調査内容について伺いたい。
- (3) 「市ホームページ等多言語情報の充実」に向けての市内での検討の進め方及びその結果みえてきた課題について伺いたい。
- (4) 外国人からの具体的な意見の内容について伺いたい。
- (5) 25年度以降に行う取り組みの具体的内容について伺いたい。
- (6) 横浜がめざす、国際性豊かなまちとはどのようなものか。

2 羽田空港国際化について

- (1) 羽田空港の騒音対策に関する本市の考えについて伺いたい。
- (2) 神奈川3団体の現在の連携内容について伺いたい。
- (3) 国際線増加を見据えた今後の本市の取り組みについて伺いたい。

3 米軍施設の跡地利用について

(1) 旧小柴貯油施設について

ア 国有地処分に関する国との協議における本市の基本的な考え方について伺いたい。

イ 公園整備にあたっては、なるべく費用のかからない方法を考えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

ウ 今後、公園計画を具体化する中でも市民の意見を聞くべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 上瀬谷通信施設について

ア 国有地の跡地利用の考え方について伺いたい。

イ 広域防災活動拠点として想定している具体的な内容について伺いたい。

ウ 広域防災活動拠点の実現に向けた取り組みについて伺いたい。

- 4 人口減少・少子高齢化社会の郊外部再生とコンパクトなまちづくりについて
- (1) 市南部を中心とした、駅から離れた戸建住宅地の人口・世帯数及び年齢構成の動向について伺いたい。
 - (2) コンパクトなまちづくりにより形づくられる、駅から離れた戸建住宅地の姿について伺いたい。
 - (3) コンパクトなまちづくりに向けた、郊外戸建住宅地の方策について伺いたい。
- 5 空き家・空き地の総合的な対策について
- (1) 空き家・空き地対策としての課題認識について伺いたい。
 - (2) 空き家・空き地問題の状況の把握について伺いたい。
 - (3) 空き家・空き地の総合的な対策を検討する上での政策局の役割について伺いたい。
 - (4) 今後の空き家・空き地対策へ向けた意気込みについて、副市長に伺いたい。
- 6 地域ニーズに沿った施設のあり方検討プロジェクトについて
- (1) プロジェクトの検討結果についてと、現場を視察しているか伺いたい。
 - (2) 旭区白根地区の地域ケアプラザを例とした、プロジェクト成果の具体的な反映内容について伺いたい。
 - (3) 市有地に市が新設する場合と、賃借の場合を比較した、長期的なコストメリットについて伺いたい。
 - (4) 事業化されていない地区の地域ケアプラザの検討を進める際に政策局はどのように関与していくのか。
- 7 地方分権の進展に伴うハローワークとの連携について
- (1) 区役所においてハローワークとの一体的な就労支援を実施することとなった経緯について伺いたい。
 - (2) 国と連携することによる市民へのメリットについて伺いたい。
 - (3) 5区での実施に向けた取り組み状況及びその後の展開について、副市長に伺いたい。

7 小 幡 正 雄 委員（ヨコ会）

1 横浜市立大学の国際化に向けた取り組みについて

- (1) 今年度の留学生の受け入れ人数、現状分析及び受け入れ留学生の出身国の内訳について伺いたい。
- (2) 受け入れ留学生の出身国を多様化させるために、どのような取り組みをするのか。
- (3) 市大の学生が参加した国際会議の内容と役割について伺いたい。
- (4) 第5回アフリカ開発会議に関連した市大学生の参加など市大の取り組み内容について伺いたい。
- (5) より多くの東南アジア・アフリカの学生を市大に入学させるための働きかけとして、例えば横浜親善大使としての本市のPRをするような機会を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 横浜市立大学の業務評価について

- (1) 公立大学法人化して8年間を経過した現時点における、本市の市大に対する評価と今後の期待について、副市長に伺いたい。